

聴覚・音声・言語障がい者向け手話通訳者及び要約筆記者に関するアンケート結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回、頂戴しましたご回答やご意見については、意思疎通支援事業をはじめとした障がい福祉施策の参考とさせていただきます。

浦安市福祉部障がい福祉課

回答数	37
-----	----

【設問1】	あなたの現在の年齢は、おいくつですか。				
回答	1. 18歳未満	2. 18歳～39歳	3. 40歳～64歳	4. 65歳以上	総数
回答数	0	2	15	20	37
割合	0.0%	5.4%	40.5%	54.1%	100.0%

【設問2】	あなたのお住まいの地区は、どちらですか。			
回答	1. 元町地区	2. 中町地区	3. 新町地区	総数
回答数	12	17	8	37
割合	32.4%	45.9%	21.6%	100.0%

【設問3】	あなたの障害者手帳について、聴覚・音声・言語の等級はいくつですか。					
回答	1. 2級	2. 3級	3. 4級	4. 6級	5. 不明	総数
回答数	17	7	6	6	1	37
割合	45.9%	18.9%	16.2%	16.2%	2.7%	100.0%

【設問4】	聴覚等に障がいが生じたのは、いつ頃からですか。					
回答	1. 生まれてすぐ	2. 幼少期から18歳未満	3. 18歳～64歳	4. 65歳以上	5. わからない	総数
回答数	7	6	13	7	4	37
割合	18.9%	16.2%	35.1%	18.9%	10.8%	100.0%

【設問5】	あなたの日頃のコミュニケーション手段を選んでください。〔複数回答可〕						
回答	1. 手話	2. 口話	3. 筆談	4. 指文字	5. テキスト入力	6. その他	総計
回答数	9	18	19	6	14	14	80
割合	11.3%	22.5%	23.8%	7.5%	17.5%	17.5%	100.0%

その他について、メールやアプリ等です

【設問6】	手話を使いたい・覚えたいと思いますか。			
回答	1. 思う	2. 思わない	3. わからない	総数
回答数	10	12	9	31
割合	32.3%	38.7%	29.0%	100.0%

【設問7】	手話を勉強するとしたら、どのような勉強方法をお考えですか。(複数回答可)						
回答	1. 動画サイトを見て勉強	2. 市や公民館での手話講座に参加する	3. 通信教育等民間事業者の手話講座に参加する	4. 手話サークルに参加して勉強	5. 本やテキストで勉強	6. その他	総計
回答数	5	8	3	4	3	2	25
割合	20.0%	32.0%	12.0%	16.0%	12.0%	8.0%	100.0%

【設問8】	手話を使いたい・覚えたいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)						
回答	1. 難しい	2. 口話で十分	3. 筆談で十分	4. 会話ができる	5. 時間や機会がない	6. その他	総計
回答数	8	3	3	6	1	6	27
割合	29.6%	11.1%	11.1%	22.2%	3.7%	22.2%	100.0%

その他については、外出の機会が少ない、無い

【設問9】	市の手話通訳者・要約筆記者を利用(窓口利用・派遣依頼)したことがありますか。				
回答	1. 利用したことがある	2. 利用したことがない	3. わからない	総計	
回答数	7	30	0	37	
割合	18.9%	81.1%	0.0%	100.0%	

【設問10】	市の手話通訳者・要約筆記者を利用(窓口利用・派遣依頼)したことがない理由。(複数回答可)						
回答	1. 市に手話通訳者がいることを知らなかった	2. 市から手話通訳者・要約筆記者を派遣してくれることを知らなかった	3. 利用のための手続き方法が、わからない	4. 利用のための手続き方法が、難しいため	5. 市の手話通訳者・要約筆記者を利用する必要や機会がないため	6. その他	総計
回答数	6	7	7	2	16	10	48
割合	12.5%	14.6%	14.6%	4.2%	33.3%	20.8%	100.0%

【設問11】	市の手話通訳者・要約筆記者の派遣が可能なケースは、どんなケースをイメージしていますか。(複数回答可)								
回答	1. 地域の集まりやイベント	2. 病院等への通院や検査	3. 学校行事等	4. 仕事関係	5. 公共機関の申請・相談	6. スーパー・コンビニ等での買い物	7. レストラン等での食事	8. その他	総計
回答数	17	27	10	4	23	4	1	7	93
割合	18.3%	29.0%	10.8%	4.3%	24.7%	4.3%	1.1%	7.5%	100.0%

【設問12】	日ごろの生活でお困りになっていること。(複数回答可)								
回答	1. 地域の集まりやイベント	2. 病院等での通院や検査	3. 学校行事等	4. 仕事関係	5. 公共機関の申請・相談	6. スーパー・コンビニ等での買い物	7. レストラン等での食事	8. その他	総計
回答数	13	19	3	8	17	8	8	12	88
割合	14.8%	21.6%	3.4%	9.1%	19.3%	9.1%	9.1%	13.6%	100.0%

【設問13】 他者とのコミュニケーションで困ってしまうケース(自由記入欄)									
j 相手の話しが聞き取れない	話が聞き取れない	他者の話を正確に聞き取りづらい	相手が急いで伝えたい時に怒らせてしまいます	相手が何を言っているかわからない	身振りや筆談などとして欲しい	マスク付けてると分からない	相手が何を言っているかわからない一対一なら聞き返せるが、複数人いると難しい		
	内容が、正しく聞き取れない	音や声が聞こえない	特に急いでる時に相手が何を言ってるかわからない	聞こえない電話は出れない	マスクしていたり、早口で話されると聞き取れない	聞き取れないので何かすべきことがあってもわからないので、外に出た時に何か言われても戸惑うと思う			
こちらの伝えたいことが伝わらない	説明することができない	相手が理解してくれるまで時間がかかる	喋りたいけれど言葉が出ない	会話に加われない	会話ができない	健聴者とは基本的に口話でコミュニケーションを取っているが、自分の伝えたいことがちゃんと伝わっているかどうか分からない			
聞こえない、聞こえにくいことに気づいてもらえない	内部障がいには分からない	耳が聞こえにくい事が、外見から判断が難しいので健常者と思われる		耳が聞こえず相手の言ってる事が理解出来ないのに、自分自身でその事を伝える事が出来ない		外見で障がい者とは気づいていただけませんので(仕方ありませんが)、手続き等で何度も聞き返したり等時間がかかってしまいます			
なんとか補聴器等で対応しているが	日常生活で不自由を感じることはあるものの補聴器でなんとかカバーしている	今のところ補聴器使用の為、なんとか	補聴器を使っていますが細かい事でわからない事がある	補聴器をすると、インターホンの音は聞こえませんが、インターホン越しの話の内容が理解できない		補聴器を使用しているので、静かな場所で1対1だと良いが、多数の人と賑やかな場所でのコミュニケーションは難しい			
具体的に、こんな時、こんなところが困っています	常に音楽が流れている場所での聞き取りは難しい	プロボックスの具合が悪い時	スポーツ大会、避難所	話し合いでコミュニケーション	119番依頼	現時点では家族が健常なのでそのような事態はないが、ひとり暮らしになった場合に発生すると思う			
	地域の集まりでは内容が理解しにくい	視力障がいもあるため、あまりよく見えない	ミーティングで複数人で議論している時、早口で会話をすることが難しい		母の病院にて先生がパソコン作業しながら早く話すので困った事があった		問診で先生が言ってることに対して聴こえないから理解できていない		

【設問14】 市の施策・事業として、特に優先すべきこと。【3つまで】									
回答	1. 手話等を学ぶ機会の拡充	2. 市民への理解を高めるような施策・事業	3. 学校現場での理解を高めるような施策・事業	4. 市職員をはじめとした行政に携わる人の理解の向上	5. 医療機関での理解を高めるような施策・事業	6. お店や事業所での理解を高めるような施策・事業	7. 「浦安市手話言語等の理解及び普及の促進に関する条例」のさらなる周知	8. その他	総計
回答数	12	14	8	12	21	11	7	5	90
割合	13.3%	15.6%	8.9%	13.3%	23.3%	12.2%	7.8%	5.6%	100.0%

【設問15】 その他、市の意思疎通支援事業について(自由記入欄)									
聞づらい人にマークが無い。	もっと市民に手話の存在を広めてほしい。	行政(市、国)からどのような支援があるのか分からない	補聴器購入支援額で引き上げ	補聴器は絶対必要です。しかし使用に耐えるものは1台30万円します。両耳だと60万円です。したがって今の補助金レベルだと全く意味がありません。		前に障害に対して補助金が有りましたが、無くなりました。必要な物を買う時の負担増感が有ります。			
私は聴覚は大丈夫です。失語症だけです。大声で反論したら左遷させる会社がいるのが許さず市と県が許さない。		音声文字変換アプリ等の支援をいただけると大変ありがたいです。	電子申請可能になって欲しい。	通訳依頼方法はFAX以外を希望。スマホやパソコンで出来ると便利、ペーパーレスになる。		視覚、聴覚障害を併せ持っている、ファックスなどの操作も自分では難しい。併せての解決法がほしい。			
母の代理で娘が入力しています。高齢なので送られてきた郵送物のQRコードからアンケートフォームにアクセスして回答する事は自分1人で行う事は出来ません。		支援者事業記載されているQRコードを読む事は出来ても自分でアクセスして情報拾いに行く事は出来ません	様々なお店や公共機関で、筆談対応可能の見出しを見かけることが多いが、混雑時などでは筆談をお願いしづらい。		病気を経験してないで、人前で発言するのが具の骨頂です。いつ誰が来るかわからない。明日は我が身である。人前で話したのは、50~60回位、ボランティア土、日、今は、もう断っています。				